

シジュウカラ子育て（再挑戦）（撮影：2025年6月 斧原）

今年4月に子育てを中断したシジュウカラのペアが、5月22日から再び巣作りを始めた。今度はしっかりとヒナを育て上げ、6月29日に無事巣立った。子育ての手順は紹介済みなので、今回は子育て中の彼らの「食べ物」を中心に紹介します。ムシが苦手な人は見ない方がいいかも。

今回は軒下に置いた古い巣箱を使い、目の前のエサ台が巣箱への中継場所になったので、彼らの行動がよく観察できた。



エサ台



抱卵中のメスへの食べ物運び



雨や直射光も防げる快適な巣箱

シジュウカラ向けの定食

クルミとヒマワリは1年を通じてよく食べる。クルミは他の小鳥たちも大好物。ただし子育て中は、他のお客達の外乱を避けるため食事提供は一切休止した。



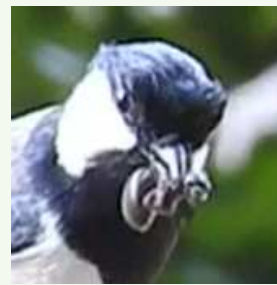
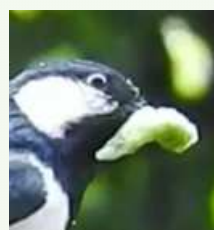
クルミを刻んだもの



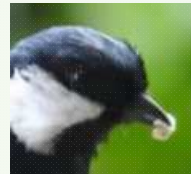
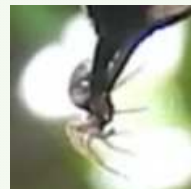
ヒマワリの種



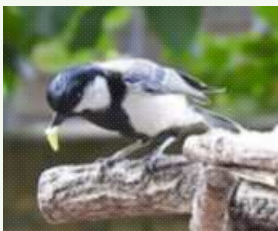
6/1～6/12（抱卵中）：巣箱のメスにオスが食べ物を運ぶ。巣箱へ持込んだりエサ台で渡したり



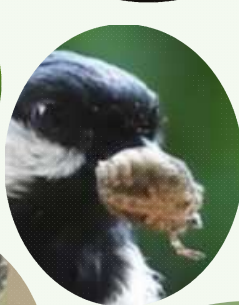
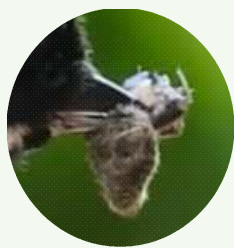
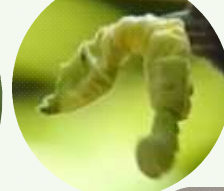
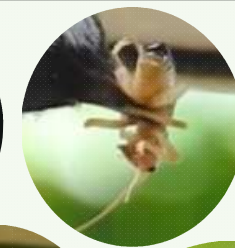
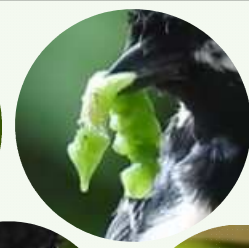
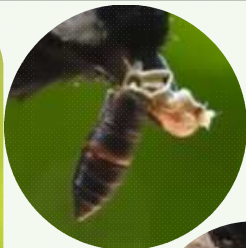
6/13（孵化）：小さなヒナには小さな虫を運ぶ



虫を捕ってきて、周りに外敵がないか十分に確認しないと巣箱に入らない。毎回々々、安全第一。



6/21（孵化後 1 週間）～6/24：小鳥たちは可愛い顔をして、ほんとに獰猛なハンターだった



6/25～6/28（巣立ち間近）：運ぶ虫も特大になり、回数もぐんと増えた。時々ヒナの声がする



オス・メスが同時になることも
しばしば。メスが羽を震わせ
「お先にどうぞ」の合図を送る。

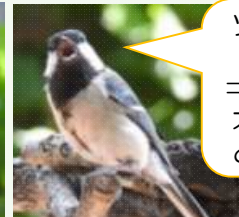


ヒナは食べるとすぐにおしりからプッと出す。
親が受け止め外へ運ぶ。



今やヒナは親が来ると中で立ち上がる。親は中に入れず、入口で給餌している。

6/29（巣立ち）：午前中からいつもと様子が違う。念入りの安全確認と呼びかける声が続く。



ツピッ、ジジジジジジ
（みんな、集まれ！
＝ 子供達出ておいで）
オスは、ツピーツピー
と自分の縄張りを主張



羽震わせて何を？ 外敵はいないか？

虫を咥えて、すぐには巣箱に入らず、暫く呼びかける。



集まれの声を聴き、近所の幼鳥が来た

12:13 ついにヒナが顔を出した。口に付いているのは巣材の毛。後で親が外した。



16:00 エサ台で虫を咥え、
呼びかけつつ待つ



17:09 巣箱から顔を出す
飛び出す決心がつかない



17:15 巣立ち（その1）の直前

17:40 巣立ち（その2）
右は飛んだ瞬間

